

# Architectural Workshop HIEIZAN 2017

## 建築学生ワークショップ比叡山2017

### 全国の大学生たちが小さな建築を、比叡山・延暦寺に8体実現。



#### 2016 年度参加学生

参加者 建築および環境デザイン等の分野を学ぶ学生および院生 47 人

#### 参加校 (2016 年度)

東京大学 千葉大学 滋賀県立大学 京都大学 京都工芸繊維大学 京都府立大学 大阪大学 大阪市立大学 和歌山大学  
早稲田大学 法政大学 工学院大学 お茶の水女子大学 武蔵野美術大学 明星大学 読売理工医療福祉専門学校  
早稲田大学芸術学校 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 立命館大学 摂南大学 京都女子大学 京都建築大学校  
九州工業大学 Bartlett School of Architecture

延暦寺は「古都京都の文化財」の一環としてユネスコの世界遺産に登録された、京都市と大津市にまたがる天台宗総本山。現在も、籠山行や千日回峯行などの厳しい修行が現代まで続けられている日本仏教の代表的な聖地において、2017 年夏、建築学生ワークショップを開催します。

#### 2017 年度参加予定講師



# Architectural Workshop HIEIZAN 2017

## 公開プレゼンテーション



今春に全国から公募にて募りました、建築や芸術、環境デザインを学ぶ国内外の参加学生ら約50名が、合宿（期間：8月22日から8月28日）にて比叡山に滞在し、古都京都の歴史文脈に基づいた小さな建築を8体、8月27日（日）延暦寺の境内に実現します。

また8月27日（日）13時より、比叡山延暦寺「延暦寺会館」にて開催される公開プレゼンテーションでは、参加学生たちの提案意図や制作の創意工夫を発表し、国内外で活躍する建築家をはじめとした全国の大学で教鞭を執られる先生らと技術者による講評会を開催します。

大学や専攻、年齢も異なり次世代を担う参加学生たちが、歴史的に貴重な日本仏教の聖地が環境に触発され、7月より現地のリサーチを重ねた経験に基づき、合宿による地域滞在型での制作ワークショップにより、柔軟な発想により制作した作品と発表、そして厳しくも温かい講評者の貴重なコメントを合わせてお聴きください。琵琶湖の雄大な景色を眺めながら提案し、豊かな発想力のもと実現した小さな建築空間に存在する、新たな価値の発見に迫ります。



2010 奈良・平城宮跡



2011 滋賀・竹生島



2015 和歌山・高野山



2016 明日香村・提案作品講評会の様子

# Architectural Workshop HIEIZAN 2017



根本中堂



根本中堂



阿弥陀堂



恵心中堂



横川中堂



にない堂

## テーマ

### “今、この場所から” 日本仏教の代表的な聖地において

その場所のもつ歴史や意味、地形や風の流れといった文脈を読むことを始点として建築はつくられていきます。ですから、建築にとって「場」を読み解くことは始まりであり、最も重要なことといえます。これを学ぶことは建築の道を歩み始めた学生にとって大切であり、実地でなければ学び得ないことだと考えています。

比叡山1200年の歴史の中で培われてきた人間のちから。その霊場のもつ自然のちから。これらを、その場に身を置き、天台宗の教えにふれながら読み解いていく。その過程で他校の生徒はもちろん、地域の方々や参拝の方々の様々な考えにふれながら読み解いていく。普段、学内の似通った価値観の中で学んでいる学生にとって、大変貴重な経験になります。

比叡山延暦寺は、世界の平和や平安を祈る寺院として、さらには学問と修行の道場として、日本仏教各宗各派の祖師高僧を輩出し、日本仏教の母山と仰がれています。

山内は「東塔(とうとう)」「西塔(さいとう)」「横川(よかわ)」と呼ばれる3つの区域に分かれており、東塔は現在、西塔は過去、そして横川は未来空間を現し、そのご本尊をお参りすることで、根本に立ち返り、今、生かされていることに感謝をする祈りの場所となっています。

日本仏教の中心である比叡山に、全国で建築を学ぶ大学生が集まり、過去1200年に渡って受け継がれてきた歴史を、現代の問題とともに未来へとつなげていくために、「今、この場所から」伝えていくべきことを、それぞれが真剣に考え、原寸大の空間として表現します。延暦寺発祥の地であり、本堂にあたる根本中堂を中心とする区域において、作品を展示することで、訪れた人が中に入り、心を落ち着かせ、祈りを捧げることができる、小さな建築空間を創出します。

将来を担う学生たちが今という時代に向き合い、この場所のできることに全力で取り組むことで、「今、この場所から」世界に向けたメッセージを発信していきます。学生たちはきっと、その若い感性によって新たな発見をし、未来を創造する提案をしてくれることでしょう。

# Architectural Workshop HIEIZAN 2017



平城宮跡



竹生島



高野山



明日香村



実施制作打合せの様子

## ■ 建築学生ワークショップとは？

建築ワークショップとは、建築や環境デザイン等の分野を専攻する学生がキャンパスを離れ、国内外にて活躍中の建築家を中心とした講師陣の指導のもと、その場所における場所性に根づいた実作品をつくりあげていくことを目的としてきました。2001年度から始まったこのワークショップは過去に山添村（奈良県）・天川村（奈良県）・丹後半島（京都府）・沖島（滋賀県）などの関西近郊の各地で行われ、それぞれの過疎化した地域を対象に提案し、市や街、村の支援を得ながら、有意義な成果を残してきました。

第10回目の開催となった2010年度より、新たに今までの取り組み方の志向を変え、一般社会にも投げかけてゆけるような地元の方たちと共同開催での参加型の取り組みとなっていくことを目指し、「平城遷都1300年祭」の事業として、世界文化遺産（考古遺跡としては日本初）にも指定されている奈良・平城宮跡で開催しました。続く2011年度は滋賀・琵琶湖に浮かぶ「神の棲む島」竹生島（名勝史跡）にて、宝厳寺と都久夫須麻神社と共に開催。無人島とされている聖地に、地元周辺の方たちと汽船で通う取り組みを行いました。

そして一昨年は、開創法会1200年となる100年に1度の年に、高野山・金剛峯寺（世界文化遺産）との取り組みから、境内をはじめ周辺地区での開催をしました。そして昨年は、昭和58年11月7日に聖地・キトラ古墳で、ファイバースコープによって北壁の玄武図が発見されてから30年を経て、公開される直前のキトラ古墳と国営飛鳥歴史公園の開演イベントとして、キトラ古墳の麓に小さな建築を8体実現しました。

このような日本における貴重で特殊な聖地における環境において、地元の建築士や施工者、大工や技師、職人の方々に古典的な工法を伝えていただきながら、**日本を代表する建築エンジニアリング企業・日本を代表する組織設計事務所の方々や多くの施工会社の皆様、そして建築エンジニアリング企業の方たちによる技術者合宿指導により実制作を行い**、地元・地域の多くの方たちによる協力のもと、原寸の空間体験ができる小さな建築物の実現と、一般者を招いた公開プレゼンテーションを行う等、これまでにない新たな試みを実施してきた、全国の大学生を中心とした合宿による地域滞在型の建築ワークショップです。

## 開催目的



提案作品発表の様子

### 1. 学生のための発表の場をつくる

学内での研究活動が主体となっている学生にとって、一般市民に開かれた公開プレゼンテーションを行うこと自体が非常に貴重な体験となります。また、現在建築界で活躍する建築家を多数ゲスト講師に迎えることで、質の高い講評を参加者は受けることができます。また、ワークショップ終了後の会場での展示や、会期報告としてホームページや冊子の作成を行い、ワークショップの効果がさらに継続されるような仕組みをつくります。



提案作品講評会の様子

### 2. 教育・研究活動の新たなモデルケースをつくる

海外での教育経験のある講師を招聘する等、国際的な観点から建築や環境に対する教育活動を行うワークショップとして、国内では他に類を見ない貴重な教育の場を設けます。また、行政や教育機関の連携事業として開催することで、国内外から注目される教育・研究活動として、質の高いワークショップをつくることを目指します。



キトラ古墳

### 3. 地球環境に対する若い世代の意識を育む

現在、関西地方には、世界に誇る貴重な文化遺産を有する京都や奈良、琵琶湖や紀伊半島の雄大な自然など、豊かな環境が数多く残っています。しかしながら、近年の社会経済活動は環境への負荷を増大させ、歴史的に価値の高い環境をも脅かすまでに至っています。このワークショップでは一人一人が地域環境の特殊性、有限性を深く認識し、今後の建築設計活動において環境への配慮を高めていくと同時に、地球環境の保全に貢献していくことをねらいとしています。次世代を担う学生たちが、具体的な経験を通して環境に対する意識を育むことは、環境と建築が共存できる未来へと、着実につながるのではないかと考えます。



明日香村村長によるレクチャー

### 4. 地域との継続的な交流をはかる

歴史、文化、自然が一体となって残る地域の特色を生かしたプログラムを主軸に、特殊な地域環境や、住民との交流によって生み出される制作体験を目的としています。各地域には、それぞれの土地で積み重ねてきた歴史や文化、風土があり、短期間のイベントであればそれらを深く知ることはできませんが、数ヶ月にわたる継続的な活動を前提として取り組むことで、より具体的な提案や制作によって、地域に還元していくことができると考えています。

■ 開催概要

開催テーマ “今、この場所から” 日本仏教の代表的な聖地において  
開催希望場所 比叡山延暦寺（滋賀県大津市）  
平安時代初期の僧侶 最澄により開かれた日本天台宗の本山寺院。  
1994年にユネスコの世界文化遺産に、古都京都の文化財として登録されている。

予定スケジュール 2017年度（平成29年）

1月31日（火） 事業計画（草案）決定と募集パンフ掲載・座談会の開催

2月4日（土） プレスリリース配信（雑誌各社への広報）

4月1日（土） 参加者募集開始

※5月11日（木） 予定 参加説明会開催（東京大学）

候補者 西沢大良 or 腰原幹雄

※5月18日（木） 予定 参加説明会開催（京都大学）

候補者 平田晃久 or 宮本佳明

5月31日（水） 23:59 必着 参加者募集締切（参加者決定）

6月24日（土） 現地説明・調査

7月22日（土）～23日（日） 提案作品講評会と実施制作打合せ（1泊2日）

7月22日（土） 提案作品講評会

7月23日（日） 実施制作打合せ

7月24日（月）～8月21日（月）【29日間】 各班・提案作品の制作

8月22日（火）～8月28日（月） 合宿にて原寸制作ファイナル（6泊7日）

8月22日（火） 現地集合・資材搬入・制作段取り

8月23日（水）～8月26日（土） 原寸模型制作（4日間）

8月27日（日） 公開プレゼンテーション

8月28日（月） 清掃・解散

制作内容 “唯一無二の自然環境を守るために、あなたの提案を実現化してください”  
フォーリーの原寸模型を現地の地域産材（自然素材 / 木、土、石など）の材料で制作

# Architectural Workshop HIEIZAN 2017

## 予定表

2016年

5月24日(月)  
比叡山開催決定

7月1日(金)  
計画地比叡山延暦寺決定

2017年

1月31日(火)  
座談会

5月11日(木)  
参加説明会開催(東京大学)

5月18日(木)  
参加説明会開催(京都大学)

5月31日(水)  
参加者募集締切(参加者決定)

6月24日(土)  
現地説明会・調査

7月22日(土)  
提案作品講評会

7月23日(日)  
実施制作打合せ

8月22日(火)  
現地集合・資材搬入・制作段取り

8月23日(火)~26日(土)  
合宿にて原寸制作(6泊7日)

8月27日(日)  
公開プレゼンテーション

8月28日(月)  
撤去・清掃・解散

写真は2015, 2016年度開催の様子



# Architectural Workshop HIEIZAN 2017

**参加対象者** 建築および環境デザイン等の分野を学ぶ学生および院生

**参加大学** (2016年度参加校)

東京大学 千葉大学 関東学院大学 芝浦工業大学 法政大学 武蔵野美術大学 早稲田大学 静岡文化芸術大学  
大阪市立大学 京都大学 京都工芸繊維大学 和歌山大学 大阪芸術大学 大阪工業大学 大阪工業技術専門学校  
関西大学 関西学院大学 近畿大学 摂南大学 奈良女子大学 九州大学 九州工業大学

**参加人数** 60人 (大学院生1人+参加学生4~6人)×8班 計50名 (上限) + 運営サポーター10名 (上限)

**学生参加費用** 実費 (宿泊費、保険代、函録・資料代、一部食費等 約¥35,000 予定 / 事前徴収制)

※ 現地までの交通費は各自別途負担となります。

※ このワークショップは、ご賛同をいただいている企業・財団、

ならびに開催地の有志の方々のご協力と、学生の参加費により運営をしています。

被災地域からの参加学生がある場合は、減免・優遇します。

**参加講師** (予定)

五十嵐太郎 (建築史家・建築評論家 | 東北大学 教授)

石川 亮 (美術家 | 成安造形大学 研究員)

西沢 大良 (建築家 | 西沢大良建築設計事務所 主宰)

南條 史生 (美術評論家 | 森美術館 館長)

竹原 義二 (建築家 | 無有建築工房 主宰)

江村 哲哉 (構造家 | アラップ構造エンジニア)

腰原 幹雄 (構造家 | 東京大学 教授)

櫻井 正幸 (旭ビルウォール 代表取締役社長)

佐藤 淳 (構造家 | 東京大学 准教授)

陶器 浩一 (構造家 | 滋賀県立大学 教授)

瀧野 敦夫 (構造家 | 奈良女子大学 講師)

芦澤 竜一 (建築家 | 滋賀県立大学 教授)

新井 清一 (建築家 | 京都精華大学 教授)

遠藤 秀平 (建築家 | 神戸大学 教授)

幸家 太郎 (建築家 | 幸家太郎建築研究所 主宰)

長田 直之 (建築家 | 奈良女子大学 准教授)

平田 晃久 (建築家 | 京都大学 准教授)

平沼 孝啓 (建築家 | 平沼孝啓建築研究所 主宰)

藤木 庸介 (建築家 | 滋賀県立大学 准教授)

本多 友常 (建築家 | 摂南大学 教授)

横山 俊祐 (建築家 | 大阪市立大学 教授)

吉村 靖孝 (建築家 | 明治大学 特任教授)

主 催 アートアンドアーキテクトフェスタ

共 催 比叡山延暦寺

連携共催 比叡山振興会議

連携協賛 琵琶湖汽船

連携協力 園城寺 (三井寺)

特別協賛 旭ビルウォール

協 賛 高島屋スペースクリエイティブ他、ゼネコン・組織設計事務所・地域企業

後 援 (予定) 京都府 京都府教育委員会 滋賀県 滋賀県教育委員会 大津市 大津市教育委員会

毎日新聞社 文化・経済フォーラム滋賀 高島屋

日本建築学会 日本建築士会連合会 日本建築士事務所協会 日本建築協会 日本建築材料協会

滋賀県建築士事務所協会 滋賀県建築士会 近畿建築士会協議会 日本建築家協会近畿支部滋賀地域会

地域協力 京都精華大学 京都造形芸術大学 滋賀県立大学 成安造形大学 坂本観光協会

協 力 (予定) 京阪ホールディングス